

連続研究会「ウクライナ情勢を背景とする国際秩序の変容」

# ロシアのウクライナ侵攻から得る シリア内戦の教訓

2022年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻にかかる解説や分析では、「今世紀最悪の人道危機」と呼ばれたシリア内戦が引き合いに出されることが多い。本報告では、両紛争の同異を念頭に置きつつ、シリア情勢の現況を解明し、ウクライナ情勢の今後を展望するための視座を提示することを試みる。

**2022年9月29日(木)**

**16:00~17:30**

ZOOMによるオンライン研究会

- 報告者  
青山 弘之 氏      東京外国語大学 教授
- コメント  
高岡 豊 氏      東京外国語大学 特別研究員
- 司会  
三代川 寛子 氏      東京外国語大学 准教授

お問い合わせ先：  
東京外国語大学  
国際関係研究所 事務局  
iir-office@tufs.ac.jp

本企画は2022年度 東京外国語大学研究AO研究プロジェクトの  
支援を受け実施されています